

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	伊自良の里・食と農推進協議会	事業開始年度	目標年度	事業実施期間
2. 取組振興山村名	福井県福井市	平成28年度	平成30年度	平成29年5月2日～平成30年3月31日
3. 事業費(うち国費)	6,525,520円(6,500,000円)			
4. 第三者氏名	伊藤 勇教授(福井大学国際地域学部教授)			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント) 今年度の取組は、地域づくり住民団体、生産組織、女性グループ、青年グループおよび行政機関等の地区に関わる主要な諸団体の緊密な連携・協力と合意をベースにしながら、農家レストランや直売所の本格開業に向けた準備と試行、地域外青年による赤かぶらの栽培支援体制整備の試み、赤かぶら加工品改良の試み、畑わさび本格栽培への準備、さらに情報発信サイトの構築やマップ作成など、上味見地区の地域特性を活かした山村ビジネスの展開に向けた系統的で多面的な活動が着実に進められ、数値目標もほぼ達成という結果を伴っており、全体として高く評価されると思います。今後の取組では、農家レストラン等の開業に当たり、接客等における「ホスピタリティ(おもてなし)」のあり方について研究や研修を行うと良いのではないかと思います。		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象			
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するのための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント) 目標に挙げられた事業収益増と雇用者数の達成に向けて、赤かぶらの特産品の販売や農家レストランの試験的営業や畑わさびの試験栽培等に取り組むとともに、広報宣伝活動にも積極的に取り組んでおり、取り組みの努力は十分であったと評価できます。最終年度には、畑わさび栽培の本格化や農家レストラン・直売所の本格開業によって、一層の収益増と雇用機会増を実現することが可能であろうと期待されます。		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象			
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント) 今年度の数値目標に掲げられた雇用については100%、事業収益については84%と目標値にかなり近い数値を達成しており、目標はほぼ達成されたと評価されます。特に、雇用機会が創出されたことは当地区にとって重要な成果だといえます。今後は、雇用の長期化・常勤化を目指して、付加価値の大きい特産品・メニュー・サービスの開発と顧客開拓活動への一層の努力が期待されます。		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象			
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント) 本事業の主体である「伊自良の里・食と農推進協議会」を構成する諸団体・グループ・行政機関が緊密に連携・協力し合意を形成しながら、目標達成に向けた諸活動が展開できるような体制が確立していると判断できます。特に、諸団体間の連絡・調整および諸活動実施の司令塔的存在として、推進協議会の中に置かれた運営協議会がよく機能していることが重要だと思われます。		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)			
④ その他				
本交付金事業の対象外の話になりますが、当地区における山村ビジネスの展開のためには、ソフト面の開発とともに、ハード面での改善(例えば、施設のバリアフリー化や快適性の向上)も共に進められることが望ましく、また相乗効果も期待できるので、別の補助金等によるハード改善のための取り組みも重要ではないかと感じました。				

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。